



西中 NIE 新聞

発行

H29.12.12

海田西中学校

(NIE 担当)

倉本光

片山靖子

学びを深めて発信

今学期も多くの生徒が意欲的に投稿した。1年生の小島優陽君の書評が中国新聞「青春文学館」に掲載された。同欄は本校初めて。他にも6人の意見文がコラムに採用された。

他者を知り 自分と向き合う

～気付き 考え 実行するために～

広島県内初

学校優秀賞 受賞

「いっしょに読もう!新聞コンクール」日本新聞協会主催の「第8回いっしょに読もう!新聞コンクール」で、県内で初めて優秀学校賞に選ばれた。日常的に生徒が新聞に触れる環境を作り、新聞コンにも8割以上の生徒が応募するなどした点が評価された。今年度は応募に向け、新聞記事を読み取り友人との意見交換や感想をまとめる時間を増やした。じっくり取り組んだ成果が出た。受賞にあたり、新聞取材を受け朝日新聞と中国新聞に報道された。



↑表彰状



↓意見交換



↓盾

生きた教材を学びに

学校での学習が仕事や社会で役に立つのか。新聞を読み使うことで、そのヒントを得ることが出来るかもしれない。

音楽科は音楽の情報や曲の特徴を「好きな曲新聞」に、総合的な学習の時間では1年生が海田町の特色を調べ新聞形式に丁寧にまとめあげた。家庭科と保健体育は課題に沿った身近なニュースを社会への問題提議に繋げていた。

家庭科 (3年生)

乳幼児に関する新聞記事から興味・関心・疑問に思ったことを調べた生徒が多数いた。

古庄萌々伽さんは中国新聞の「幼児教育 底上げ図る」という記事に注目した。広島県教育委員会推進プランの方策、幼児教育アドバイザーの派遣について賛成し、さらに高度な専門知識を持つ教諭等も増員してはどうかと考えた。

保健体育科 (1年生)

「この夏、印象に残ったスポーツ記事」をスクラップ・要約し、今後どのように

異なる視点で社会と繋ぐ

運動を生活の中で生かしていくかを考えた。梶川笑さんは世界陸上選手権男子400メートルの記事を取り上げ、「リスクを恐れないことの大切さを知った。自分も時間を作って走りたい。」と書いた。

異なったスタンス。ポイントで新聞記事を選ぶと面白い。図書委員会は『知っ得NEWS』で、仲間知って考えてほしい新聞記事を紹介。副委員長で野球部の建部晃汰君(2年生)は、広陵高校野球部の中村奨成選手に注目。夏の甲子園の記事を友達とスクラップし掲示した。社会科の倉本光先生は『今日の一文』で学習にリンクするニュースを優しく解説。学校司書は心温まる『ドリームニュース』をポップな見出しで紹介している。図書館入り口付近に新聞号外、今年誕生した上野動物園のパンダの成長の様子を時系列で追っている。今季2連覇したカープについても新聞や関連図書資料で特集を組んでいる。